

「キリストが復活されたのはなぜか」

コリント人への手紙第一15章12～22節



キリスト教会がその歴史において、もっとも長く、広くその信仰を告白してきたのは「使徒信条」です。「罪の赦し、からだのよみがえり、永遠のいのちを信じます」との告白は、私たちの信仰の骨格です。

この手紙は、復活されたイエスキリストに会った人たちが生きている時代のものです。パウロは、キリストが復活されたから私たちには罪の赦し、からだの復活、永遠のいのちが約束されたのだと語ります。

①最後の最後に残るのは、罪のゆるし、からだのよみがえり、永遠のいのち

“神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。” ヨハネ3:16

“キリストは、万物をご自分に従わせることさえできる御力によって、私たちの卑しいからだを、ご自分の栄光に輝くからだと同じ姿に変えてくださいます。”

ピリピ 3:20

②イエスキリストが死から復活された事実を覚えて

“しかし、今やキリストは、眠った者の初穂として死者の中からよみがえられました。死が一人の人を通して来たのですから、死者の復活も一人の人を通して来るのです。アダムにあってすべての人が死んでいるように、キリストにあってすべての人が生きられるのです。” 15:20-22

③「からだのよみがえり」の時を待ち望んで生きよう

“聞きなさい。私はあなたがたに奥義を告げましょう。私たちはみな眠るわけではありませんが、みな変えられます。終わりのラッパとともに、たちまち、一瞬のうちに変えられます。ラッパが鳴ると、死者は朽ちないものによみがえり、私たちは変えられるのです。この朽ちるべきものが、朽ちないものを必ず着ることになり、この死ぬべきものが、死なないものを必ず着ることになるからです。” 15:51-53

“私たちは、この宝を土の器の中に入れています。それは、この測り知れない力が神のものであって、私たちから出たものではないことが明らかになるためです。私たちは四方八方から苦しめられますが、窮することはありません。途方に暮れますが、行き詰まることはありません。迫害されますが、見捨てされることはありません。倒されますが、滅びません。私たちは、いつもイエスの死を身に帯びています。それはまた、イエスのいのちが私たちの身に現れるためです。” 2コリント4:7-

<話し合ってみましょう>

- ・使徒たちが伝えた福音とは、「死んだら天国に行く」ということとは少し違いますね。この手紙から感じたことを話し合ってみましょう。